

熊野市社協 飛鳥事業所

ひなた通信



令和3年4月

イメージキャラクター「ひなた」

新年度が始まりました

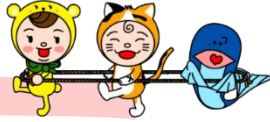


いよいよ令和3年度にはいりました。世間ではコロナ禍により暗いニュースが報道されていますが、幸いにも紀南圏域ではそれほどの流行もなく落ち着いている状況です。飛鳥事業所においては感染防止対策を徹底しており、今後も引き続き気を緩める事なく継続していきたいと思えます。

今年度も職員一同皆様のお役に立てるよう頑張っていきますのでよろしくお願い致します。



デイサービス



飛鳥・五郷デイサービスは月曜日から金曜日に営業しており、祝日も営業しています。デイサービスではさまざまなレクリエーション、脳トレ、機能訓練を行い身体機能の維持、認知症予防に努めています。在宅での入浴が困難であったり不安な方は、職員がお手伝いしながら、安心して入浴して頂いています。昼食やおやつは手作りで、高齢者に合った食事を提供させて頂き、利用者さん達にも好評です。

利用者さんの中には一人暮らしの方も多く、昔からの友達がいたり新しい仲間もできたりと「家で1人過ごすよりもデイサービスに来てたくさんの人達とお喋りできるので楽しい」と言っています。2ヶ月に1度の『ひなたいむ』、秋には『ひなた祭』という大きなイベントを開催し、利用者さんに楽しんで頂いています。



今後も職員一同、利用者さんに「デイサービスに来て楽しかった」と満足して頂けるよう頑張っていきますので、よろしくお願いします。

ヘルパー



飛鳥事業所のヘルパーは現在19名で活動しています。

住まいの内訳は、飛鳥町7名、五郷町9名、育生町1名、波田須町1名、御浜町1名。年齢は20代～70代と幅広く、20年以上勤めるベテランヘルパーも多くおります。

事業所の訪問範囲はとても広いので、毎日、飛鳥町、五郷町、神川町、育生町、海岸部を飛び回っており、朝一番に飛鳥町を訪問したかと思えば、次は育生町ということもあり、移動の時間や距離をたっぷり使います。パワフルなおばちゃんたちを中心に頑張っています。



ケアマネジャー



今年度より、熊野市社協の居宅介護支援事業所は井戸事業所(飛鳥事業所は昨年5月に統合)と紀和事業所の統合により、井戸事業所の1事業所になりました。井戸事業所を拠点に、山間部から海岸部まで、市内各地を訪問しています。担当ケアマネジャーは変わらずそのままです。

「井戸にいるの？飛鳥にいるの？どこにいるの？」とよく聞かれます。井戸事業所勤務ですが、外出が多く、不在なことも。ご迷惑をおかけすることのないよう、どこの事業所にご連絡いただいても、不在の場合は、折り返しの電話で対応させていただきます。